

所長の部屋



所長のひとことアドバイス

タイトル 健康診断結果への対応(4) γ -GTP

[2017年10月]

今回は γ -GTPです。ガンマーGTPと読みます。これも肝臓などの細胞内にある酵素で、基準値は50U/L程度までです。

前回同様に、肝臓などの疾患で上昇します。肝障害の原因を①B型肝炎、②C型肝炎、③脂肪肝、④アルコール性肝障害、⑤総胆管疾患、⑥その他に分けた場合、どの疾患でも高値になりますが、ASTやALTが正常なのにこの値が高い場合は、④と⑤が多いようです。

④のアルコール過飲により高値のことが最も多い印象です。前回も書いたように、男性でエタノールにして60g/日(日本酒2合、ビール1L)以上、女性では男性の2/3以上飲む人は可能性大ですが、異常値となるお酒の量は個人差大です。過去に肝障害と言われ、「お酒を飲みますか？」と医師から聞かれたら、この数値が高かったのでしょうか。

⑤の総胆管疾患でも高値になります。総胆管結石、胆管癌や膵癌などです。早期に検査を受ける必要があります。

これまでの3回で説明した、AST、ALT、 γ -GTPともに、高値の場合は早急に医療機関を受診し、腹部超音波(エコー)や腹部CTなどの検査を受けてください。どの数値異常でも言えることですが、異常を認めた場合には、まず原因を調べるのが大切です。